

地元産業界等との地域の課題解決に向けた連携事業の実施、公表

(1) 連携している地元産業界等の組織名称

長崎県造船協同組合、長崎運輸支局

(2) 当該連携事業における地域の課題、その課題解決に向けて設定した目標

現在、長崎県には大学や高専など高等教育機関が多数集積しており、優秀な人材を供給できる体制にあるが、人材の県外流出割合が多く、いかに県内にとどめるかが大きな課題となっている。加えて、長崎県の基幹産業である造船業を中心に培ったものづくりの伝統とノウハウが蓄積している一方で、後継者不足など技術の継承の課題も大きくなっている。

本学と長崎県は、長崎県の基幹産業である造船業の活性化、並びにそれを支える優秀な人材を中長期的に継続して育成し供給していく目標を掲げている。

(3) 上記の課題の解決に向けて実施する取組の内容

長崎県造船協同組合は、長崎県内の造船業界に特化した新人並びに経験者訓練等を行っている組合である。長崎県造船協同組合と本学は地域課題（造船人材の育成）に取り組んでおり、本学からは松岡和彦教授（工学部工学科 船舶工学コース）が講師として例年参加し人材育成に取り組んでいる。

令和6年度は8月22日（木）に「第1回経験者研修会」が開催され、本学の松岡和彦教授が「溶接技術と溶接工学の基礎」、「建造方法と溶接技術の変遷」の講義を行った。

また、10月21日（月）には「第1回造船技術者講座」を予定しており、若手中核社員を対象とした溶接に関する育成講座が予定されている。

次世代事前人材育成事業も取り組んでおり、長崎総合科学大学附属高等学校が10月28日に造船所見学等を行う等、次世代への育成を行っている。

【長崎総合科学大学 What's new 長崎県との連携協力協定（2010.6.23）】

<https://www.nias.ac.jp/news/archives/1068>

【長崎県造船協同組合】

<http://www.zosen.sakura.ne.jp/>

令和 6 (2024) 年度

地元産業界等との連携した実践的な PBL 授業

授業科目名	地域活性化マネジメント
地元産業界等の組織名称	CONNECT 株式会社
授業の実施学部・学科	総合情報学部・総合情報学科
授業の開講目的	<ol style="list-style-type: none">1. フィールドワークから地域を理解し、課題発見をする。2. 地域振興及び地域課題の解決に関するフィールドワークの実施する。3. 地域経済の活力の創造に資する施策提案検討する。
授業の具体的な内容	<ol style="list-style-type: none">1. 地域通貨、地域助け合いに関する現状説明2. 地域通貨、地域助け合い利用者に関するフィールドワーク3. 地域通貨利用促進のための SNS 記事作成4. 地域通貨、地域助け合い利活用促進のための施策提案